



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5458 URL http://www.takasago-t.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大植 啓一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 畑田 正樹 TEL 03-5399-8111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,861	19.7	424	59.7	361	59.9	280	△26.8
29年3月期第3四半期	6,566	△5.2	265	21.8	226	33.5	382	102.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 290百万円(△25.6%) 29年3月期第3四半期 390百万円(103.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	93.32	—
29年3月期第3四半期	127.51	—

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	8,096	2,607	32.2	868.41
29年3月期	7,942	2,317	29.2	771.79

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,607百万円 29年3月期 2,317百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2円となり、1株当たり年間配当金は2円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	15.1	550	30.3	480	28.3	380	△11.4	126.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,008,000株	29年3月期	3,008,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,400株	29年3月期	5,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,002,747株	29年3月期3Q	3,002,802株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、平成29年6月23日開催の第145期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下の通りとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 12円66銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国の政策動向、英国のEU離脱や中国をはじめとした新興国の景気動向などの主に海外情勢の不確実性の影響で先行きには不透明感が残っております。

鉄鋼業界におきましては、鋼材需要は底堅く、建設向けは建築・土木向ともに順調で、自動車等製造業向けの需要も堅調に推移いたしました。

このような経済状況の下で、当社グループは、中期計画（平成27～29年度）の最終年度に入り、鉄鋼製品事業において、みがき帯鋼事業およびステンレスエンボス製品、加工品事業に集中する事業体制の下で収益体質強化と強靱な財務体質確保に徹底して取り組んでおります。

主力のみがき帯鋼では自動車部品向け受注数量が堅調に増加したのに加えて、原料価格の変動分の製品価格への転嫁を着実に進めました。ステンレスの業績も総じて順調で、なかでもエンボス製品や市況の安定を受けた子会社でのステンレス鋼材の卸販売が好調に推移いたしました。また、全社的に原料費や固定費等のコスト管理にも継続して取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,861百万円（前年同期比19.7%増）と増収となり、利益につきましても、営業利益は424百万円（前年同期比59.7%増）、経常利益は361百万円（前年同期比59.9%増）と大幅な増益を確保することができました。親会社株主に帰属する四半期純利益は280百万円（前年同期比26.8%減）となりました。前年同期比減少したのは前年同期に固定資産売却益等の計上があったためです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は8,096百万円となり、前連結会計年度末より154百万円増加いたしました。これは主に減価償却により固定資産は減少しましたが、受取手形及び売掛金等の流動資産が増加したことによるものです。

負債総額は5,489百万円となり、前連結会計年度末より135百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金は増加しましたが、借入金と社債が減少したことによるものです。

純資産につきましては、2,607百万円となり前連結会計年度末より289百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第3四半期までの業績が概ね計画に沿って進捗しているため、現時点において修正は行っておりません。今後、修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

なお、配当予想につきましては、平成30年1月31日付け「配当予想の修正（復配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191	1,222
受取手形及び売掛金	2,501	2,759
商品及び製品	484	565
仕掛品	278	261
原材料及び貯蔵品	314	393
繰延税金資産	64	71
その他	18	21
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	4,850	5,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,022	986
機械装置及び運搬具(純額)	1,606	1,368
土地	275	275
その他(純額)	27	22
有形固定資産合計	2,931	2,652
無形固定資産		
	51	45
投資その他の資産		
投資有価証券	18	23
繰延税金資産	35	34
その他	59	52
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	108	105
固定資産合計	3,091	2,804
資産合計	7,942	8,096

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211	2,626
短期借入金	766	565
リース債務	65	40
未払法人税等	78	56
未払消費税等	4	36
賞与引当金	48	44
その他	568	548
流動負債合計	3,743	3,919
固定負債		
社債	375	250
長期借入金	354	169
リース債務	47	21
繰延税金負債	2	4
役員退職慰労引当金	102	117
退職給付に係る負債	860	889
資産除去債務	33	33
その他	104	85
固定負債合計	1,880	1,569
負債合計	5,624	5,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	885	1,165
自己株式	△6	△6
株主資本合計	2,383	2,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	7
退職給付に係る調整累計額	△69	△63
その他の包括利益累計額合計	△65	△55
純資産合計	2,317	2,607
負債純資産合計	7,942	8,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,566	7,861
売上原価	5,625	6,675
売上総利益	941	1,186
販売費及び一般管理費	675	761
営業利益	265	424
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
その他	7	4
営業外収益合計	7	4
営業外費用		
支払利息	39	22
環境対策費	—	38
その他	7	6
営業外費用合計	46	67
経常利益	226	361
特別利益		
固定資産売却益	268	—
特別利益合計	268	—
特別損失		
固定資産除却損	4	—
環境対策費	36	—
特別損失合計	40	—
税金等調整前四半期純利益	454	361
法人税、住民税及び事業税	51	88
法人税等調整額	20	△6
法人税等合計	71	81
四半期純利益	382	280
親会社株主に帰属する四半期純利益	382	280

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	382	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	3
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	7	9
四半期包括利益	390	290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390	290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。